南町小だより

つよく　かしこく　あたたかく
～　ありがとうを　とどけます　～

練馬区立南町小学校
令和８年９月３０日

「自分らしく 全力で 走りぬけ!」

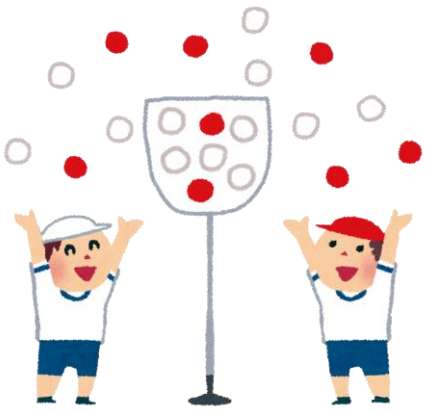
来る 10 月 10 日（土）は運動会です。東京都教育委員会では 10 月を「東京都体力向上努力月間」と位置付けています。本校では運動会を一つのよい機会と捉え、体を動かす場面を意図的に作っています。

また、代表委員会の子どもたちが月曜の全校朝会で上の表題のとおり、運動会のスローガンを発表しました。各クラスで考えた言葉を紡いで、代表委員会で話し合って決めました。スローガンづくりを含め、運動会を盛り上げる様々な取組を考え、実行しています。今年の運動会も、子どもの主体性が発揮されるように活動し、達成感と自己肯定感を育てていきます。

今年度も全校競技や団体競技というはっきりした勝ち負けが経験できる種目で、友達と力を合わせて競争する楽しさや喜び、悔しさといった感情を表し、勝ち負けを受容する大切さを学びます。引き分けもあり得ますが、当日まで真剣に勝負していきます。

表現運動では、子どもの思いを大切に、仲間と共によりよい表現を目指しています。例えば、学年の実態に応じて、グループのみんなで練習する・ダンスリーダーが中心となって考えたダンスを取り入れる・体育の時間以外に自主的に練習し、お互いのダンスを見合ってよさや課題を伝え合う・運動会実行委員が練習の初めにその時間のめあてを伝え、練習の終わりに振り返りを話す・表現の仕方を子どもたちが考えて決めていくなどです。どの種目も、子どもたちは意欲をもって、楽しんで行っています。走の運動については、12 月に体育の学習内容に沿って持久走で平日に授業公開の予定です。

学校行事で着実に子どもは伸びます。子どもたちの思いが形となり、最後には皆のキラキラのやり遂げた笑顔があふれる運動会になると確信しながら、生き生きと活動する子どもたちを見るのが楽しい日々です。長雨や台風の影響が心配ですが、皆様のお越しをお待ちしております。



10月の行事予定

日	曜日	主な行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年	相談室
1	木	**都民の日**							
2	金	全校練習Ⅰ 運動会係活動②（5･6年） ことばの教室後期指導開始	5	5	5	5	6	6	
3	土								
4	日								
5	月	全校朝会　委員会活動（5･6年）	4	5	5	5	6	6	心
6	火	全校練習Ⅱ	5	5	6	6	6	6	
7	水	みかんの日 4時間授業(教育会全体研究会)	4	4	4	4	4	4	
8	木	全校練習（予備）	5	5	6	6	6	6	心
9	金	4時間授業（1～4年） 前日準備（5･6年）5校時 つつじルーム前期指導終了	4	4	4	4	5	5	SC
10	土	運動会　給食あり4時間授業	4	4	4	4	4	4	
11	日								
12	月	**スポーツの日**							
13	火	運動会予備日 つつじルーム後期指導開始	5	5	6	6	6	6	
14	水	本の探検ラリー（3年）	5	5	5	5	5	5	
15	木	児童集会　本の探検ラリー(4年)	5	5	6	6	6	6	心
16	金	朝読書 秋の読書旬間始（～10月29日）	5	5	5	6	6	6	SC
17	土								
18	日	**練馬まつり**							
19	月	全校朝会　クラブ活動（4～6年） ことばの教室在籍担任参観週間始 （～11月13日）	4	5	5	6	6	6	
20	火	朝読書　避難訓練（2次避難）	5	5	6	6	6	6	
21	水	4時間授業(校区別協議会) 図書委員会紹介集会 ブックトーク（6年）	4	4	4	4	4	4	
22	木	朝読書　図書お話会(1年)	5	5	6	6	6	6	心
23	金	朝読書　5時間授業 薬物乱用防止教室（6年） ブックトーク(5年)	5	5	5	5	5	5	SC
24	土	**第一地区祭･学校応援団祭り**							
25	日								
26	月	全校朝会　委員会活動（5･6年） ことばｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ検査(1年)	4	5	5	5	6	6	心
27	火	朝読書　避難訓練予備日	5	5	6	6	6	6	
28	水	土曜時程4時間授業(12:55下校) 就学時健康診断	4	4	4	4	4	4	
29	木	朝読書　図書お話会(2年) 秋の読書旬間終	5	5	6	6	6	6	心
30	金	5時間授業 南町小スマイルフェスティバル ふれあいランチ+遊び	5	5	5	5	5	5	SC
31	土								

※各学年欄の数字は、授業時数を表します。
※下校時刻の目安(土曜時程は除く)は以下の通りです。
　＊全ての曜日　4時間…13:20 頃
　＊月･火･木･金曜日　5時間…14:35 頃 ・ 6時間…15:20 頃
　＊水曜日　5時間…14:20 頃
　＊月曜日(クラブ活動実施日)…15:45 頃
　下校時刻が異なる場合は学年だより等でお知らせします。
※「相談室」欄は、相談室で勤務する職員の来校日です。
　SC:スクールカウンセラー、心:心のふれあい相談員
※予定は変更になることがございます。ご了承ください。

運動会に向けてのお願い

日時：令和8年10月10日(土)

運動会まで、いよいよ 10 日ほどとなりました。それぞれの学年練習も順調に進んでいます。今週より全校練習も始まります。朝の時間から始まり、着替えもありますので、早めに家を出られるよう言葉掛けをお願いします。

運動会についての詳しい内容は、運動会のお知らせや各学年からのお便りを確認してください。

読書旬間に向けてのお願い

期　間：令和8年10月16日(金)～10月29日(木)

内　容：①「朝読書」の時間に自主読書
②保護者による読み聞かせ
③図書館と連携した取組
低学年：お話会
中学年：本のたんけんラリー
高学年：ブックトーク
④読書記録
⑤おすすめの本紹介カード作成
⑥図書委員会による委員会発表

お願い：学校でも図書の時間の確保などで、各自で読む本を用意しますが、児童の興味関心にあった本を、ご家庭でご用意のうえ、持たせてください。

就学時健診について

日時：令和8年10月28日(水)

午後から、来年度入学予定者の健康診断を実施します。この日は水曜日ですが、1校時が8時35分開始の土曜時程で、給食ありの4時間授業になります。下校時刻は全学年12時55分となります。ご承知おきください。

南町小スマイルフェスティバル ふれあいランチ・遊び

日時：令和8年10月30日(金)

今年度も、児童が楽しみにしている「スマイルフェスティバル」を昨年度と同様に実施します。各学級がゲームや手作りの遊びを楽しむ「お店」を開き、学年をこえて互いのお店を回る行事です。どんなお店にするかを学級会で話し合い、一人一人が役割を分担して準備を進めます。友達と協力して一つの行事をつくり上げる経験を通して、学級への所属感や自己有用感を育てたいと考えています。また、ふれあい班ごとに給食を食べ、遊び、学年や学級が異なる児童同士で楽しく交流します。当日は、ぜひご家庭でも話題にしていただければ幸いです。

忘れ物・図書開放について

放課後や土日に忘れ物を取りに来校される際は、必ず保護者（大人の方）が付き添い、中央玄関で来校者名簿にご記入のうえ、教室までご同行ください。図書開放に来校する場合も、中央玄関で名簿にご記入ください。児童の安全確保のため、ご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

９月の主なできごと

９日(水)３年生　中村南　西貝農園見学

実際にお邪魔して農家の仕事の様子を学びました。今は秋冬野菜の種まきや苗育てをしているそうです。初冬に控えるキャベツの収穫も楽しみにしています。




９日(水)６年生　アイヌ文化を学ぶ ↗

アイヌ文化協会の皆さんをお招きして、総合的な学習の時間で、昔は北海道を中心に暮らしていたアイヌの人たちの文化を学び、踊りも体験できました。

10 日(木)５年生　認知症サポーター養成講座

練馬地域包括支援センターとデイサービスセンターの方をお招きし、クイズも交えながら認知症になられた人とのかかわり方や支援の方法を学びました。




14 日(月)６年生　同和問題 ↗

東京都人権啓発センターの職員をお招きし、同和問題の歴史的な背景や現在に残る差別の実態を学び、子どもたちなりに今後の向き合い方を考えていました。

16 日(水)６年生　路上生活者

路上生活者の支援を続けている NPO 法人代表をお招きし、実際の支援風景や現在の実態を知り、子どもたちなりに支援したい思いを発表していました。



30 日(水)６年生　外国人

JICA の方をお招きし、発展途上国の多さやそこでの暮らしの様子、我々が外国に行くときに感じる困り感、日本で暮らす外国人が感じる困り感を比較しながら学び、子どもたちなりに自分にできることを発表したり、前向きな感想を伝えたりしていました。



南町小だより

つよく　かしこく　あたたかく
～ ありがとうを　とどけます ～

各調査結果お知らせ号
練馬区立南町小学校
令和８年９月３０日

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について概要をお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査　（令和8年4月実施　対象：6年生）

※表中の枠囲みの数値は、全国および東京都の双方の平均よりも、正答率が高い傾向にあるものです。
※表中の***太字、斜字***のものは、全国および東京都の双方の平均よりも、正答率が低い傾向にあるものです。
※本文中に記載の単位「%Pt」は、「パーセントポイント」の略です。

【国語】

平均正答率 単位[%]	学習指導要領の内容						評価の観点			全体
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等						
	言語の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
校内	69.3	57.1		72.9	52.9	67.9	65.2	65.7		65.0
東京都	70.4	56.7		70.0	50.4	68.8	65.8	64.1		65.0
全国	66.8	52.3		65.8	45.7	65.9	62.0	60.1		60.9

児童質問「文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていたか」に対し、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合が69.4%Pt でした。実際のテストでも「書くこと」の正答率が全国平均を7%Pt以上上回っていて、日頃の授業での振り返りや自分の考えを書く活動の充実が、活用力の高さ（思考・判断・表現の65.7%Pt）に結びついていると考えられます。しかし、記述式問題の「集めた情報から抜き出して書く」の正答率が37.1%Pt と低くなっていて、これは全国平均（33.5%Pt）を上回るものの、南町小学校としては重点的に指導すべき問題として位置づけています。調べ学習等において、インターネットの情報をそのまま活用するのではなく、自分なりに整理、まとめる学習を進めていくことで、複雑な情報を整理して記述するような問題にも対応できる力を伸ばしていきます。

児童は国語の学習が将来役に立つという高い意識をもっていて、実際に「話す」「書く」などの表現力において高い学力があることが示されています。すでにもっている高い学力の実績を児童自身の自信（自己有用感）につなげ、「好き・得意」という主体的・肯定的な学習態度を伸ばしていくことで、さらなる学力向上を図っていきます。

【算数】

平均正答率 単位[%]	学習指導要領の領域					評価の観点			全体
	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
校内	63.2	60.7	80.0	47.6	54.3	62.9	48.9		59.0
東京都	68.0	63.4	82.9	49.9	53.9	67.1	51.1		63.0
全国	61.1	55.3	78.1	41.1	48.6	60.1	45.4		56.4

算数全体の正答率は59.0%Pt で、都平均には及ばないものの、全国平均を上回る正答率となっています。

「データの活用」では都平均より0.4%Pt、全国平均より5.7%Pt 上回っています。授業において、表やグラフからデータを読み取る活動を多く取り入れたことで、情報を整理する力が身に付いたと考えられます。しかし、国語の結果にもあるように、「集めた情報から抜き出して書く」ことは苦手な児童が多いため、引き続きデータを活用する力を伸ばす活動を、授業に取り入れていきます。

「数と計算」では4.8%Pt、「図形」では2.7%Pt、「測定」では2.9%Pt、「変化と関係」では2.3%Pt、都平均を下回りました。特に「数と計算」に関しては、全国平均ともほぼ同数値で、南町小学校の大きな課題と考えています。授業の始めの5分間を基礎基本の内容について定着させるための時間として、四則計算の問題を中心に引き続き全校で取り組むことで、「数と計算」の力を高めていきます。

質問紙からは、算数の学習が将来役に立つという高い意識をもち、算数を日常の生活で活用していきたいと考える児童が多いことが示されています。しかし、そうした児童の中にも、算数に苦手意識をもっている子が多くいます。ICT を活用したり、実際に体験する活動を通じて算数に対する学習意欲をさらに伸ばすとともに、算数が楽しく、好きということに繋げられるように、授業内容を工夫、改善に努めていきます。

【児童質問紙】

質問では、「朝食を毎朝食べていますか」等の生活習慣に関する質問や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」のような自己肯定感に関する質問、学校の学習や友達に関する質問等、計71個の質問に回答しました。特徴的だった結果についてお伝えします。

（「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」）と回答した児童の割合%）

質問項目	本校	東京都
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	72.3	71.1

東京都比で1.2%Pt、全国比だと5.9%Pt 高い結果でした。本校では、関わり合いを重視してどの授業でも対話する時間を大切にしてきました。対話の機会を多くしてきたことで、自分の考えをもち、伝えることに慣れてきて、自信がもてるようにもなりました。その裏には、聞き手がとても大切な存在になります。聞いてくれる、共感してくれる、認めてくれる聞き手がいるからこそ、話そうと思えます。聞き手を育むことも本校で大切にしてきたことです。また、国語の説明的文章で学んだ基本的な構成を発表する場面にも活用することも指導してきました。学びを生かす機会を、日直のスピーチや総合的な学習の時間の発表など多く設けてきたことも結果に結びついたと考えられます。

質問項目	本校	東京都
総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか。	87.5	83.8

東京都比で 3.7%Pt 高い結果でした。総合的な学習の時間では、調べ学習や発表の場面で、自信をもって取り組めていることが分かりました。目的がはっきりした学習場面では、ICT 機器を上手に使いこなせていることがうかがえます。学級や学年間の発表に止まらず、異学年との交流も多く行ってきたので、引き続きそのような場面を大切にしていきます。

質問項目	本校	東京都
自分には、よいところがありますか。	75	86

東京都比で11%Pt 低い結果でした。昨年度の6年生と比較しても12.7%Pt 低下する結果となりました。南町小学校では、人権尊重教育推進校として「自分の大切さとともに、他の人を大切にする」ことを学校生活のあらゆる場面で伝えてまいりました。今回の結果を、私たちは真摯に受け止めております。数値が低下した今だからこそ、私たちは改めて本校の理念に立ち返り、日々の授業や行事、休み時間の何気ない関わり合いの中で、子どもたち一人ひとりの小さな成長やがんばり、その子ならではの「よさ」を見逃さず、言葉にしてしっかりと伝えていきます。自分が認められる経験を積み重ねることで、子どもたちの自己肯定感は再び育まれていくと考えます。

自己肯定感は、学校の中だけで育つものではありません。ご家庭や地域など、様々な場面での温かい励ましや認め合いがあってこそ根付くものです。子どもたちが失敗を恐れず挑戦し、他者と尊重し合える心を育んでいけるよう、これからも教職員一同努めてまいります。引き続き、ご家庭や地域の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

質問項目	本校	東京都
学級会における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	62.5	75.7

東京都比で 13.2%Pt 低い結果でした。話合いを具体的な個人の実践に結びつける段階において、課題があることが伺えます。「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」の質問では、肯定的回答が８割近いものの、「当てはまる」と回答した熱心な層が東京都平均より少ないです。学級生活をよりよくするための学級会をまずは計画的に行い、その実践を積み重ねていきます。また、学級会で「みんなで～しよう」と決まった直後に、「そのために『自分』が明日から具体的に何をするか」を明確にする時間を設け、自分に合った「小さな一歩」を個別に設定して、自分が努力すべきことを決めて取り組みます。個人目標を達成した児童に対し、積極的にフィードバックを行って、子どもの頑張りを励まし、認めていくことを大事にしていきます。

質問項目	本校	東京都
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	69.4	81.1

東京都比で 12.3%Pt 低い結果でした。「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問でも東京都より5.7%Pt 低い結果になっています。睡眠時間の確保が学習意欲や学力向上と関連があることは明確に示されています。寝る時刻が決まっていないだけでなく、寝る時刻が遅くなっている実態もあります。小学生の理想的な睡眠時間 9～12時間です。9時間の睡眠を確保するためには夜10時に寝て朝7時に起きる必要があります。ご家庭でももう一度睡眠について見直してみてください。

質問項目	本校	東京都
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）。	37.5	31.7

動画視聴や SNS 等の利用時間について、長時間になっている児童が都平均よりも多い傾向が見られました。これからも情報モラル教育を通じて、児童自身が「自分で時間をコントロールする力」を育てていけるよう、粘り強く指導していきます。

また、学習のための活用と、余暇としての利用のバランスをとることは、学校だけでなく、ご家庭との連携が欠かせません。ぜひこの機会に、ご家庭での端末やスマートフォン等の使い方について、使う時間帯やルールをお子様と一緒に話し合う機会を持っていただけますと幸いです。